

## 事業成果報告書

1. 個人または団体名(団体の場合は代表者名も記入)	
シルヴィア・フェデリーチ『Revolution at Point Zero: Housework, Reproduction, and Feminist Struggle』翻訳プロジェクト	
(代表者名: 清水知子)	
2. 研究または活動のテーマ(課題名)	
シルヴィア・フェデリーチ著『Revolution at Point Zero: Housework, Reproduction, and Feminist Struggle』の翻訳・出版プロジェクト	
3. 助成額	
400, 000 円	
4. 実施期間	
2021 年 7 月 ~ 2022 年 11 月	
5. 実施状況	
2021 年 7 月	出版助成の決定を報告し、今後の予定についての打ち合わせ
2021 年 8 月	出版社と今後の進め方について確認
2021 年 8 月	翻訳の再構成及び修正作業
2021 年 9 月	ゲスト講師を招いて研究会を実施
2021 年 12 月	ゲスト講師を招いて研究会を実施
2022 年 1 月	翻訳の再構成及び修正作業
2022 年 5 月	事業延長申請
2022 年 6 月	翻訳の再構成及び修正作業
2022 年 8 月	出版社へ第一部訳校を入稿
2022 年 9 月~11 月	第一部初稿確認、及び第二部、第三部翻訳の再構成及び修正作業
6. 事業成果と自己評価	
<p>本事業は、資本主義社会の下で再生産労働が無価値のものと位置づけられ、女性が無償で担うものとされている社会的状況に異議申し立てをした「家事労働に賃金を」運動に関連する 1974 年から 2016 年までのシルヴィア・フェデリーチの論考をまとめ、世界的にもベストセラーになっている著作の翻訳プロジェクトである。2022 年 11 月現在、全 3 部構成のうち、第 1 部の初校を戻し、第 2 部、第 3 部の訳文を修正している。2021 年 7 月に採択していただいたあと、諸事情による出版社の変更、それにとまなう諸手続、訳文の詳細の確認、各訳者の訳文スタイルの調整、原著者への事実確認等に時間を要している。また原著者が日本語刊行版向けに新たに</p>	

序文を書き下ろして下さったこともあり、出版社と相談し、今後のスケジュールを組み直し刊行時期を延長することとした。竹村和子フェミニズム基金事務局の方々にその旨を報告し、第1部初校の提出をもって事業を終了することとなった。出版物の刊行に至らなかったことを、改めて心よりお詫びし、最終的に完成度の高いものとして刊行できるよう、引き続き最善を尽くしていく所存である。

## 7. 提出成果物

成果物として第一部初校を基金事務局宛に郵送いたします。